

## 1 エサ押し

エサ押し（エサ寄せ）は乳牛にもっとエサを食べてもらうために行う作業です。エサを食べてもらうことで乳量が増え、収入につながります。

### (1) エサ押しのタイミング

エサ押しは、乳牛が「食べたい」と思う時に飼槽にエサが置いてあるようにすることが重要です。飼槽にエサがあるのに口元に届かなければ意味がありません。飼槽にあるエサの状況を見てエサ押しを行いましょ。そして、乳牛の食事は1回当たり20～30分、1日10～12回くらい食べると言われ、搾乳直後にエサを欲しがるといわれています。1日の作業スケジュールと見合わせながらエサ押しの計画を組み込んでいくことが必要です。

エサが乳牛の口に届かなくなる前にエサ押しを行いましょ。



写真1 エサは届く位置にあることが重要



写真2 時間とともにエサの山は前方へ

### (2) エサの押し方

エサの押し方はただ押しつけるのではなく、下になったエサ（乳牛の口に触れていない新鮮な面）を上にならされるように押しすることが重要です。下になったエサを上にならされることで、配ったばかりのエサと思い「食べたい」行動を刺激します。



写真3 ただ押しだけではなく



写真4 反転させるようにエサ押しを行う